

# シアトル別院時報

35巻 12月号

2016年度教化標語  
まことの人生を歩もう



## 『鐘の音』

関谷沙羅師



物理学者のアインシュタイン博士は、この宇宙には絶対的な時間が単独に存在しているわけではないとみていたそうです。はたして時間というものは本当に流れているのでしょうか？…この質問は仏教や科学等、様々な立場から関心の高いところではありますが、実際の私達の情感の中では、12月は年末、まさに区切りの時、一年の締めくくりなどといわれます。この時期になりますとふと過ぎた一年を振り返ります。

シアトル別院での今年の行事も終盤に入りました。今年最後のお勤めは31日夜の「除夜会」です。多くの仏教寺院で勤められる法会です。「除夜」とは「除日の夜」のことで、「除日」とは「古い年を払い除く日」です。除夜といえば除夜の鐘が有名です。多くの寺院で108回撞かれます。この回数由来は複数の説があり、人間の煩悩を表すという説が多く聞かれます。本願寺など撞かないお寺もあります。煩悩を払うという考えを主眼としていないことがあるからでしょう。

翌1日に勤まる『元旦会』の準備も整い、立派にお荘厳もできたところに除夜会は勤まります。第8代宗主の蓮如上人の頃は「歳末の太夜」と呼ばれ、第14代の寂如上人の頃には除夜会と呼ばれました。記録によるとご本山では第12代准如上人の頃(1600年位)から今日まで変わらず、午後3時半に「行事鐘」が鳴り、阿弥陀堂で『重誓偈作法』、御影堂で『般舟讚』がご修行になります。

「行事鐘」といえば、法要や儀式の開始を知らせる合図です。「喚鐘」が打たれます。また、除夜の鐘として多くの

### 12月の予定

- 4日 10時 成道会
- 10時45分 日本語プログラム
- 11時45分 ポットラック
- 11日 10時 家族法要
- 日本語法要なし
- 11時 別院総会
- 18日 10時 家族法要
- 10時45分 日本語プログラム
- 25日 別院・事務所休み
- 日曜法要なし
- 31日 7時 除夜法要
- \*\*\*
- 1日 1時半 日系マナー法要
- 6日 10時 成道会 敬老ホーム
- 15日 1時半 日系マナー法要
- 27日 10時半 敬老ホーム法要
- 1月
- 1日 元旦法要
- 8日 別院新年会

寺院で用いられる「梵鐘」という鐘は、私達の方では法要や儀式を開始するより少し前の時間に、人々が参集する合図として打つため「集会鐘」とも呼んでいます。朝夕の時報など、時間を知らせるものとして使われています。

このようにして仏教寺院では昔から、時間を知らせたり行動を促したりする上で、鐘や雲板など打物が用いられてきました。そのため、仏道を志す人々は鐘の音に敏感です。鐘の音に気付かされてきたからです。今行うことは何なのか。

同じことが今、この除夜の鐘にも除夜会の喚鐘にも言えるかもしれません。喚鐘が鳴ったら何を意味するのか。喚鐘の音は仏様の足音で、ここに今来ましたということを表すとお味わいされる方々がいらっしやいます。

私達は人生の中で年齢の数だけ除夜を迎え、何度となくこの除夜の鐘の音を聞いてきました。しかし、今この音は初めて聞く音です。この時は、今まで経験したことのない、新しい時です。今にあって、今や過去、未来をどう見るのか。

蓮如上人は「歳末の礼には信心をとって礼にせよ」と仰ったといひます。そこからは除夜の法会も他力念仏の教えを聞かせていただくためであることを知らされます。ともすると、過去に未来に、感情に、流されてしまう自分を、この鐘の音に気付かされ、み教えを心新たに聞かせていただき、やわらかく今を受け止めていく。この人生初のこの場所にも、いつ何時も付き随ってくださる阿弥陀如来がともにあってくださることに、今この口からお念仏がこぼれます。南無阿弥陀仏

## 会長の挨拶 カストロ輪番のリタイアメント

別院理事会 会長 星野アラン



1985年12月当時のBCA山岡誓源総長と当時のシアトル別院理事会会長であった亡き小財アイゾウ“バスター”氏がディールを結びまして、1986年1月カストロ先生がシアトル別院に配属されました。1985年、お寺では3人目の先生を迎えるサポートに同意しました、大内貞磨輪番、中垣開教使は日本からの先生で英語を話す先生を欲していました。

1985年には総長が新関デニス開教使を白河仏教会に移されました。新関先生の代わりとして寺川しげる開教使がアサインされましたが、突然に亡くなられるということがあり他の先生を希望していました。

幸いに山岡総長はカストロ先生を円満寺より移されることができ、カストロ先生一家、リンダ夫人、クインシー、テッドが私たちとのシアトルでの生活を始められました。

先生は最初のサン・フランシスコと円満寺より9年の経験があり、活気ある、若々しく新しいアプローチを別院に持ってこられました。先生は大内輪番は先生を庇護されてましたが、同時に自分自身のやり方を作る自由をもみとめられました、と言われていひます。日本人の血を受け継がない浄土真宗の僧侶という立場はチャレンジであると共によい機会にも恵まれました。毎回「白人」という言葉を聞かれたたびに一ドルを貰ったとすればいまでもお金持ちになれたことでしょう。先生は「がまん」という日本語の言葉をよく理解されていひました。エコーサンガのコンセプトの開発と別院での実現、その結果お盆ではごみは埋め立てに行かず、コンポストになりました。それに先生の影響で私達のメンバーとミニスター・アシスタントの民族の多様性にも繁栄し、それは別院をよりよき場所としていひます。

先生のメンバーに持つそのインパクトは11月20日に明確となりました、日曜法要では人々は本堂には入りきれず、玄関にまで人であふれ、その法要は私達の覚える限り最大の人出となりました。その後のランチでも同じでした、ジムは430名の先生のリタイアを祝う人々で埋め尽くされ何十年も前のお盆以来の人出でした。



今月末カストロ先生はその輪番のポジションからリタイアされ、新しい僧侶人生のチャプターを始められます。先生とシュリ夫人はシアトルに留まりシアトル別院メンバーとなります。

先生はお葬式の最後のダーマ・メッセージで「ライフ・ウェル・リブッド」とよく言われます。先生の言葉を借りて「先生ありがとうございました、ミニステリー・ウェル・リブッド」Thank you sensei for a ministry well lived!



Photo by Tomi Zumoto

## 会員部より

別院維持会会員の年度会費は 70 才以上は\$250（\$500 ご夫妻）、70 才以下は\$300（\$600 ご夫妻）です。これは別院の維持に対しての最低額になります。分割でも払えます、事務所までお申し出下さい。今年分の会費をお支払いになった方のお名前が英語文にあります。

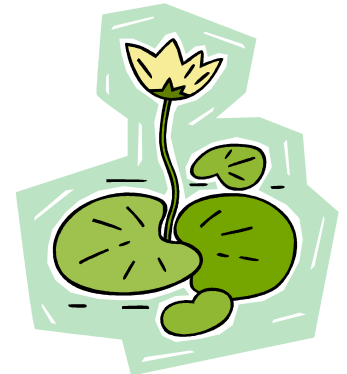
**お餅セール**：今年はお餅は作られません。

## 新年会

1 月 8 日に新年会が開かれます。チケットは\$15 で日曜日の玄関にて売り出されます。早い目にお求めください。子供のチケットもあります。80 歳以上のかたは無料ですがサインアップして下さい。玄関横にボードがあります。お寺にこれない方は事務所までお電話ください。

## 婦人会便り

1 2 月に入り今年も終わりに近づきました。婦人会会員の皆様には今年も多大なご支援を頂き感謝しております。役員が変わる年は何事につけミステークも多く、私たちも多くのことを学びました。暖かく見守ってくださりありがとうございます。多くの行事、ご奉仕など皆様のお陰で達成できました。来年も引き続きご支援を頂き会員間の交流をご一緒に楽しみましょう。



10・11 月も多くの活動がありました。

**先亡者追悼法要**：769 名の先亡者会員の追悼法要が 10 月 30 日に営まれました。カストロ先生のご法話は多くの思い出に満ちて出席者からの喜びの声が聞かれました。私たちは多くの会員とふれあい、お互いの思い出を沢山残します。また多くの寄付をいただき感謝いたします。また当日のお手伝いもありがとうございました。

**総会・慰労会**：11 月 27 日に催され約 50 人が出席しました。

**報恩講法要**：婦人会フード部ではミチ・バート、ゲール須坂、川原律子、をリーダーに「おとき」を用意しました。メンバーはこの特別な法要時の特別な料理に喜びました。

**婦人会の名誉会員**へ登録ご希望の方はその希望を書いて提出してください。

**カストロ輪番のリタイーパーティー**：別院のジムが出席者で埋まりました。先生のお人柄を象徴するように、先生のリタイアーを喜び、また寂しさが聞かれました。BCA 総長、梅津先生より感謝状が送られ、遠方よりの参加者、など心温まる会となりました。

婦人会メンバーが計画、お赤飯の料理、会場のデコレーション、クッキー作り、などに参加しました。

新しいメンバーを募っております、ご家族、お知り合いなどご紹介ください。

**ミッション・ステートメント（使命記述書）**：浄土真宗婦人としてその教えを繁栄させ、会員間の友情を培う、シアトル別院に仕え支援し、コミュニティーの福祉に寄与する。（和田訳）

長年の婦人会メンバー・前会長であった岩村好江夫人が亡くなりました。謹んでお悔やみ申し上げます。岩村夫人は婦人会会長を 1989-90、1995 年務められました。

11 月理事会会議では 5 団体に年末の寄付が贈られることが決定しました。（Mary's Place, Denise Louie Educational Center, ACRS, Wheel of Dharma, Children's Hospital）

